

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 1月 20日

事業所名 カラーズFC鳥栖

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	3	3	0	適切なスペース・敷地面積を設けている。
	2	職員の配置数は適切であるか。	3	1	2	配置上問題ないが、人力的に不足する時間帯などがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか。	3	2	1	階段や段差がないので転倒の危険はない。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	3	0	朝礼でのサイクルはあるが、昼から出勤されるパートのスタッフに伝わっていないことがある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	4	2	0	毎年、結果を踏まえての改善を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等え公開しているか。	3	1	2	公開している。知らないスタッフもいるので周知していく必要がある。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	1	内部監査を行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	1	月一で実施出来ている。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	1	半年ごとにモニタリング・アセスメントを実施し、計画を作成。計画内容もスタッフで共有し、修正・追加を行っている。
	10	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	4	0	2	専用のツールを用いての作成が出来ている。今後もツールを有効活用していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	1	毎朝のミーティングにて練習メニューの話し合いが出来ている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	1	日々テーマを設定した活動を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援を行っているか。	5	0	1	療育の観点からイベントを計画、実行が出来ています。それぞれの課題に応じた専門支援も実施しています。
	14	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	1	事業所内の個別活動・専門支援の小集団・サッカーでの集団行動など分けて計画を作成出来ている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	6	0	0	朝礼時に活動内容、児童の状況を報告しあい、それぞれ役割を持って業務にあたっている。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	3	2	1	勤務時間の関係上、平日は翌日に持ち越し、休日は終了後に振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	0	HUGでの記録作成、公開を行っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画のモニタリングの見直しの必要性を判断しているか。	5	0	1	面談や電話相談、送迎時などにお伺いし、現状の課題把握や情報共有に努めている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	1	1	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか。	5	0	1	児発管と児童ごとに詳しいスタッフを一人連れて参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子供の下校時間等の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5	1	0	情報共有を図り、柔軟に対応できるようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか。	3	2	1	かかりつけ医の把握、連携機関との提携を行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	4	2	基本的に相談員と保護者からの情報提供のみなので、今後は連携していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	0	2	4	要請があれば情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	2	2	2	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか。	0	1	5	現在行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	1	子ども部会へ毎回参加している。
	28	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子供の発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	0	送迎時の申し送りや、支援会議の参加、モニタリングなどでの聞き取りなど、状況把握に努めている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	2	2	2	ペアレントトレーニングとして親子サッカーを実施しているが、年に一回の開催なので頻度を増やしていく必要がある。	

保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	0	運営規定は契約時に、支援内容は申し送り時、利用者負担は口頭では説明できていないが、請求書を発行している。不明点がある場合は連絡を貰うようにしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6	0	0	送迎時やお電話でお悩みの相談を受けることが多いので、その場で援助または専門性が必要な際は持ち帰り、スタッフで共有して解決を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	0	2	4	保護者同士の交流の場を提供していきたい。
	33	子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速にかつ適切に対応しているか。	5	0	1	相談・苦情窓口を設置し、迅速かつ誠実に対応することに努めています。
	34	定期的に会報等を発刊し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか。	2	2	2	HUGでの発信を行っています。
	35	個人情報に十分注意しているか。	6	0	0	関係機関との連携のため、活動時の様子は伝えている。個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。
	36	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか。	5	1	0	児童の特性や家庭状況を加味したうえで必要な伝達手段を用いている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営をはかっているか。	1	1	4	地域に根差した行事を実施できていない。地域の清掃活動は年一回行っている。
非常時等の対応	38	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	3	2	1	緊急対応マニュアルはスタッフ、保護者に周知しているが、感染症・防犯に関しては職員のみでの共有になっている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っているか。	5	0	1	職員のみでの訓練。児童を含めた訓練どちらも実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	0	外部講師による虐待防止研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2	0	契約時に説明してご理解いただいている。勉強会の実施もしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	0	食事の提供はしていないが、それぞれのアレルギーを把握していく必要がある。
43	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しているか。	6	0	0	ファイルを作成し、事業所で共有出来ている。	